

# 東谷地区まちづくり協議会のあゆみ

## まちづくり協議会の誕生

平成 12 年 1 月に北九州市が校区まちづくり協議会を中心とした地域コミュニティづくりの推進を発表し、それ以後、市内の各校区でまちづくり協議会が結成されました。

東谷地区まちづくり協議会の歴史は、北九州市の方針が打ち出される前から始まります。平成 9 年 12 月に当時無人で青少年の非行の温床であった石原町駅を有人化しようと小中学校 P T A、自治連合会、地区協議会、興農会、社会福祉協議会、老人会、婦人会などが合同で J R と北九州市に要望・陳情し、平成 11 年 3 月にこれが達成されました。また、石原町駅に駐輪場も整備されました。その運動の中で、地域団体が連携し、このような実績を上げたのだから、今後の東谷地区のまちづくりのためにこの組織を中心に地域団体を結集した「まちづくり協議会」を立ち上げようではないかとの機運盛り上がり、平成 11 年 7 月から組織や規約等の検討をしまして同年 12 月に東谷地区協議会（大江真次会長）を中心に「まちづくり協議会準備会」が発足しました。これは、北九州市が方針を発表する 1 ヶ月前です。

そのような流れの中で、市民福祉センターを中心に地域活動を展開し、市民福祉センターの運営はまちづくり協議会が行なうという市の方針をうけ、準備会で幾度も検討を行い、平成 13 年 8 月に自治連合会を中心とした東谷地区まちづくり協議会の発足総会が開催されました。また、平成 14 年 4 月に「東谷公民館・市民福祉センター」の二枚看板化が実施されています。

## 『石原町駅に関する要望書』に記載された要望者 平成 9 年 12 月

### 要 望 者

東谷地区自治連合会	会長	大江	真次
呼野地区	自治会長	下沢	淳男
小森地区	自治会長	高住	昭二
木下地区	自治会長	松田	正久
井手浦地区	自治会長	谷口	了
新道寺一地区	自治会長	樋田	金光
新道寺二地区	自治会長	山下	重利
新道寺南町地区	自治会長	山下	良美
石原町地区	自治会長	増田	和弘
母原地区	自治会長	松本	泰俊
平尾地区	自治会長	壺岐尾	政智
東谷地区社会福祉協議会	会長	照屋	利男
"	青少年部会会長	下田	忠義
東谷地区青少年健全育成協議会	会長	山下	一則
東谷地区老人会	会長	甲角	竹蔵
東谷地区婦人会	会長	田島	充子
北九州市立東谷中学校 P T A	会長	増井	義喜
北九州市立新道寺小学校 P T A	会長	栗山	崇輝
"	平尾台分校 P T A 会長	河野	正史
北九州市立市丸小学校 P T A	会長	林	健次
東谷興農会	会長	下澤	利道
平尾台観光協会	会長	山下	泉
南友会	会長	村上	孝昭
小倉鉄工団地協同組合	代表理事	村山	克

## 発足総会の予算案

平成 13 年 8 月

東谷地区まちづくり協議会 予算(案)

平成13年8月29日  
平成14年3月31日

### 収入の部

科 目	平成11年度 決算	平成12年度 決算	平成13年度 予算	備 考
繰越金		0	152,830	
協賛金	地区協議会 100,000 興農会 100,000			
雑収入	預金利息 0 その他 32,000			平成11年度は発足総会の会費
合 計	232,000	156,207	152,830	

### 支出の部

科 目	平成11年度 決算	平成12年度 決算	平成13年度 予算	備 考
会議費	総会 52,820 役員会 0	1,347	40,000 20,000	500円×40人×2回 500円×10人×4回
旅費交通費	7,560		10,000	役員の仕事、区役所等への旅費
通信費	1,720	2,000	10,000	100円×40人×2回、役員会他
活動費	運営部会 12,000 まちづくり部会		20,000 20,000	500円×20人×2回 500円×20人×2回
事務費	1,693	30	5,000	
雑 費			5,000	
予備費			22,830	
繰越金	156,207	152,830	0	
合 計	232,000	156,207	152,830	

## まちづくり協議会の組織の変遷

東谷地区まちづくり協議会は、「東谷地区の各種団体が連携し、一体となってまちづくりを推進して行く」こと、「地域活動の拠点であるセンター（当時は公民館、平成14年4月より公民館との2枚看板で市民福祉センターが開設）の整備・運営を行なう」ことを目的に平成13年8月に結成されました。この目的に沿い「まちづくり部会」と「センター運営部会」の2つの部会を設立総会で設置しました。

まちづくり協議会を結成した当時より東谷郷土資料館の再生と活用がまちづくりの課題として挙げられ、公民館長会と幾度となく協議した結果、平成15年6月にまちづくり協議会で資料館の運営を行なうことになり「郷土資料館運営委員会」（現在の教養文化部会）が設置され、平成16年3月には郷土資料館のリニューアルオープン記念式典を開催しております。

平成17年1月にはこれまでの2枚看板から「東谷市民センター」になり、4月から職員の雇用などのセンターの運營業務をまちづくり協議会が受託することになりました。

その関係で、意志決定を迅速にするため町内会長で構成する理事会を平成17年5月に新設しました。同時に市民センターの清掃活動や不法投棄への対応、17年度より手がけることになった生活安全パトロールや古紙回収事業を行なう部門として「生活環境委員会」（現在の環境部会、生活安全部会）を立ち上げています。また、おでかけ交通委員会と道の駅検討委員会を諮問委員会として位置づけています。

平成16年度よりまちづくり協議会では、ほたるの飼育事業を行なっておりましたが、これが3年目に入るといことで平成18年5月の総会で「ほたる部会」（現在のほたる河川部会）を設置しました。また同総会で、まちづくり協議会の活動報告や東谷地区の情報発信、各種団体の事務支援のための「広報部会」も新設しており、平成18年6月から毎月1回、まちづくりだよりを発行しています。

健康づくり事業は、平成18年度より市の委託事業として健康づくり推進委員が中心となり展開していましたが、恒常的に推

## 市民福祉センターの除幕式 平成14年4月



進して行くべき事業であることから平成19年5月の総会でそれまでの諮問委員会から「健康づくり部会」に格上げしました。また、生活環境委員会の活動が多岐にわたり、内容的にもボリュームがあることから「環境部会」と「生活安全部会」に分割再編成し、活動することになりました。

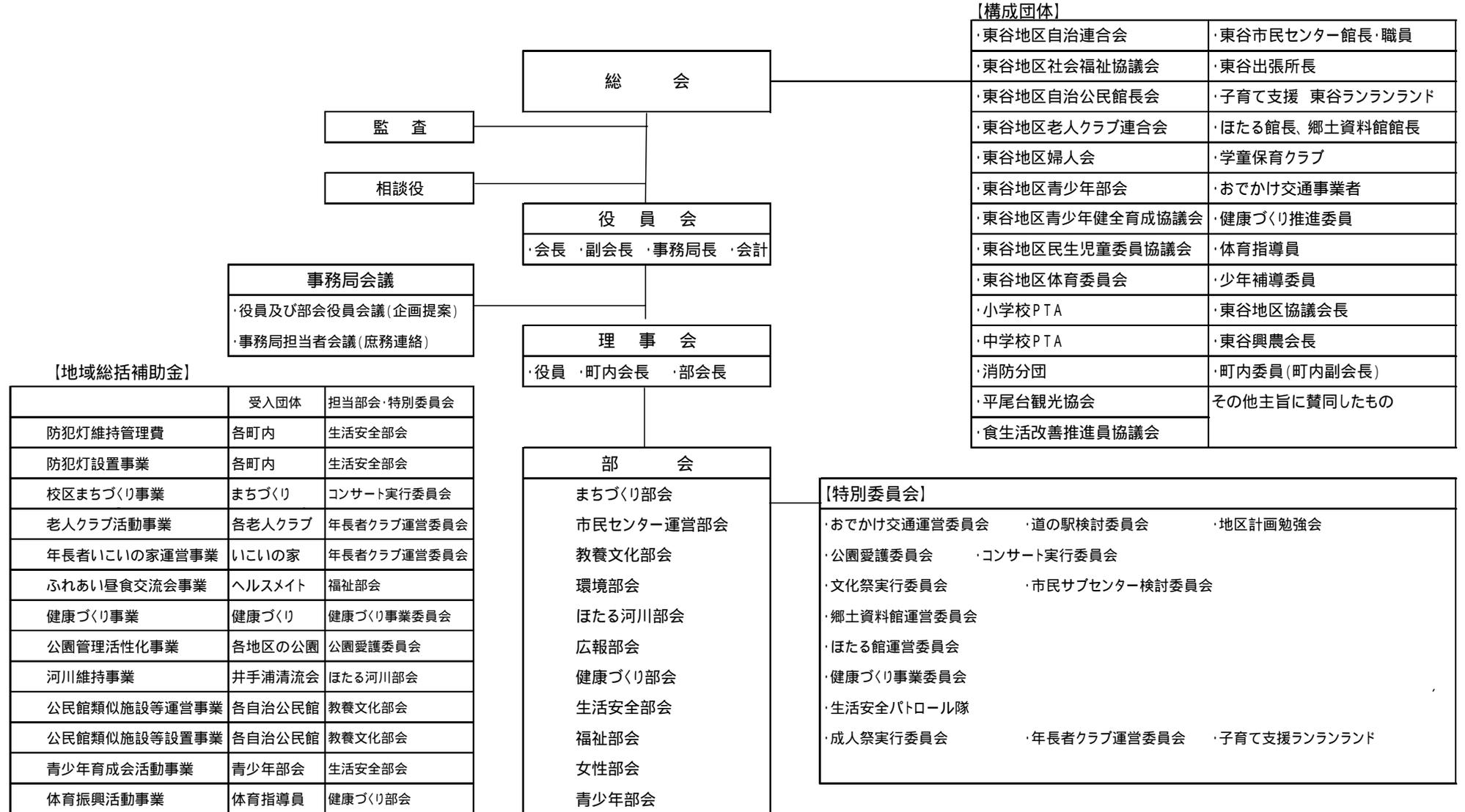
平成21年度より自治公民館や公園愛護会、防犯灯など北九州市から出ている13項目の補助金をまちづくり協議会が一括して受け入れ、各町内や団体に配分するといういわゆる地域総括補助金制度を受け入れることになりました。これを契機に平成21年度の総会では、部会の新設や諮問委員会を特別委員会と改称し再編成するなど将来を見据えた大幅な組織の再構築を行いました。郷土資料館運営委員会を部会から特別委員会として、その上部部会として自治公民館の運営も担当する「教養文化部会」を設置、また、老人クラブ活動事業、年長者いこいの家運営事業、ふれあい昼食交流会事業を展開する部会として「福祉部会」を新設。東谷婦人会については、まちづくりの中で「女性部会」として位置づけました。河川維持事業の担当としてそれまでのほたる部会を「ほたる河川部会」と改称しました。

東谷地区には、青少年の健全育成事業を行っている団体として青少年部会と青少年健全育成協議会があり、事業も似た事業を行っており、これを統一する必要があったことから、両団体と協議し、両団体の役員委員を同一メンバーとするとともにこれをまちづくり協議会の「青少年部会」と位置づけることを平成23年度の総会で決定しました。

図-1が現在の東谷地区まちづくり協議会の組織図です。

図 - 1 東谷地区まちづくり協議会の組織

(平成23年6月現在)



## まちづくり協議会の構成団体

平成 13 年 8 月の発足時、まちづく協議会を構成する団体は、東谷地区自治連合会、東谷地区社会福祉協議会、東谷地区協議会、東谷興農会、平尾台観光協会、東谷地区青少年健全育成協議会、東谷地区民生児童委員会、東谷地区老人クラブ連合、東谷地区婦人会、東谷地区青少年部会・子供育成会、東谷地区小・中学校 P T A、東谷地区体育委員会、東谷地区消防団の 13 団体であった。その後、平成 14 年に東谷地区自治公民館館長会、東谷地区食生活改善推進員協議会が加わりました。

その他、協議会の主旨に賛同する個人（団体）として、これまで、子育て支援ランランランドの代表、コーディネーターとセンターの職員、元気キッズ代表、体育指導員、少年補導委員、学童指導員、おでかけ交通事業者、健康づくり推進委員、各部会の役員・委員等で構成されます。

東谷地区協議会、東谷興農会については、それぞれの組織の性質、事業目的から見てまちづくり協議会の構成団体となるより、外部にいた方がよいとのことで、構成団体から外れ、両団体の代表についてはまちづくり協議会の相談役とすることが平成 23 年度の総会で決議されました。

平成 14 年度の正副会長  
平成 15 年 1 月の新年祝賀会



## まちづくり協議会の役員

平成 11 年 12 月の準備会の段階では、会長は東谷地区協議会の会長である大江真次氏が、副会長には、増田和弘自治連会長、壱岐尾政智社会福祉協議会会長、井上嘉孝東谷興農会会長が就任しましたが、市民センターの運営を担うこと、各種団体を束ねた組織であることから、話し合いの結果、自治連合会を中心にするべきということになり、平成 13 年 8 月の発足時には、自治連合会会長の下澤淳男氏を中心に副会長に武中義隆地区協議会会長、壱岐尾政智社会福祉協議会会長、井上嘉孝東谷興農会会長と強力なまちづくり協議会の執行体制が組織されました。

その後、平成 15 年 6 月の総会で、第 2 代会長に松崎滉氏が就任し、それとともに地区協議会会長と東谷興農会会長は、相談役に就任することになりました。また、翌年の 5 月の総会では、副会長は 2 人必要であるとのことで自治連合会副会長の島藤克彦氏（社会福祉協議会会長兼任）と高島央氏が就任しました。会長の松崎氏と新道寺校区副会長の島藤氏は平成 22 年度まで務められています。市丸校区の副会長については、平成 19 年度に山下昭徳氏、平成 22 年度は丸田悟義氏と変わっております。平成 23 年度からは、副会長は 3 人体制となり、前田康典氏、桂口春男氏、山下郁史氏が就任しました。

事務局については、当初は、自治連合会の寺本利治事務局長、山下郁史地区協議会事務局長と栗山崇輝新道寺小学校 P T A 前会長の 3 名体制でありましたが、平成 15 年の松崎会長就任時より自治連合会事務局長、地区協議会事務局長の 2 名体制になり、平成 21 年度からは、自治連合会事務局長のみの 1 名体制になっております。平成 23 年度現在の事務局長は、橘木秀徳氏であります。

図 - 2 が現在の東谷地区まちづくり協議会の歴代の役員です。

## 図 2 東谷地区まちづくり協議会 歴代役員 (敬称略)

東谷まちづく協議会準備会 (平成 11 年 12 月結成)

- 【会 長】大江真次 (地区協議会会長)
- 【副会長】増田和弘 (自治連会長) 壱岐尾政智 (社会福祉協議会会長)  
井上嘉孝 (東谷興農会会長)
- 【事務局】寺本利治、山下郁史、栗山崇輝

東谷地区まちづくり協議会 (平成 13 年 8 月発足)

- 【会 長】下澤淳男 (自治連会長) 13~14 年  
松崎 滉 (自治連会長) 15~22 年  
島藤克彦 (自治連会長) 23 年
- 【副会長】武中義隆 (地区協議会会長) 13~14 年  
壱岐尾政智 (社会福祉協議会会長) 13 年  
井上嘉孝 (東谷興農会会長) 13~14 年  
島藤克彦 (社会福祉協議会会長、自治連副会長) 14~22 年  
高 崙 央 (自治連合会副会長) 16~18 年  
山下昭徳 (自治連合会副会長) 19~21 年  
丸田悟義 (自治連合会副会長) 22 年  
前田康典 (自治連合会副会長) 23 年  
桂口春男 (自治連合会副会長) 23 年  
山下郁史 (自治連合会副会長) 23 年
- 【事務局】寺本利治 13~14 年、栗山崇輝 13~14 年、山下郁史 13~21 年、古田仁重 15~16 年、  
田代 勤 17~18 年、高 崙 央 19~20 年、橘木秀徳 22~23 年
- 【センター運営部会長】  
西村重富 13~14 年、有松量生 15 年、村上 賢正 16 年 高 崙 央 17~18 年  
山下昭徳 19~21 年、丸田悟義 22 年、桂口 春男 23 年
- 【まちづくり部会長】 前田康典 13~22 年 山下郁史 23 年
- 【郷土資料館運営委員会・教養文化部会長】  
延吉照安 15~17 年、木村英人 18 年、下条光次 19 年、山下建紀 20~22 年、  
池田耕二 23 年
- 【生活環境委員会・生活環境部会・環境部会】  
有松量生 17 年、矢野秀樹 18 年、本田幸次郎 19~21 年、大坪祥男 22 年、  
山下美彦 23 年
- 【ほたる河川部会長】 岡村勝博 18 年、篠原政美 19~23 年
- 【広報部会長】 山下郁史 18~22 年、蛭川昭代 23 年
- 【健康づくり部会長】 稲月秀雄 19~23 年
- 【生活安全部会長】 矢野秀樹 19~20 年、丸田悟義 21 年、桂口春男 22 年、柳野保博 23 年
- 【福祉部会長】 島藤克彦 21~22 年、山下一則 23 年
- 【女性部会長】 下澤章江 21 年、平野美恵子 22~23 年
- 【青少年部会長】 首藤法仁 23 年
- 【公民館・センター館長】  
米田保味 13~14 年、平田敏子 15~16 年、岡本早苗 17 年~18 年、  
霍田一俊 18~19 年、下門増美 20 年、魚住大介 21~23 年
- 【相談役】  
増田和弘 13~14 年、大江真次 13~17 年、下沢利道 13~14 年、下沢淳男 15~22 年  
武中義隆 15~23 年、井上嘉孝 15~20 年、壱岐尾政智 16~22 年、増田 強 22~23 年  
山下昭徳 22~23 年、三苫良範 13~14 年、藤永勝美 15~18 年、遠藤義男 19~20 年、  
熊埜御堂義明 21~23 年、松崎滉 23 年

## 東谷チャリティコンサート

まちづくり協議会の発足2ヶ月前の平成13年6月2日に第1回のチャリティコンサートが開催されました。第1回から第8回までは、「ハーブとほたるの里東谷チャリティガーデンコンサート」と銘うって、6月上旬の土曜日に小森町内のエスト・ラヴィーヌ・ガーデンで開催。

コンサートの目的として

地域の新しい文化の創造

地域のPR

他地域との交流

協業による地域団体のネットワーク強化を掲げ、特に、東谷地区まちづくり協議会の発足に伴うイベントとして位置づけ、東谷の地域団体が協同で活動を展開する端緒にするとの考えで創められており、今日のまちづくり協議会の組織や活動形態を決定した礎と言えよう。

第1回目は、当時の自治連合会の下澤淳男会長を中心に町内会長がコアメンバーとなり開催。第2回目以降は、まちづくり協議会主催のイベントとなった。資金面では、多くの地元企業や東谷興農会、東谷地区協議会などの地域団体から協賛していただいて来た。特に三菱マテリアル㈱については、実行委員会に入って、場所の確保、設営面や警備面などの人員を出してもらうなど絶大な協力をしていただいた。また、エスト・ラヴィーヌの元支配人菊地博之の協力なくしてはコンサートの誕生と継続はなかったかも知れない。

ステージには、菅尾玲子(シャンソンライブ)が6回、アルマンドおぎ(ラテンライブ)が8回、トリオ・ロス・ファンダンゴスが4回、アンサンブル・ミュゼ(木管四重奏)が3回出演し、この雰囲気が高評価であった。また、同時に催された地元産品の模擬店、コンサート終了後の花火を目的に訪れる人も多く見られた。

## 第3回 チャリティコンサートのポスター・立看板

爽やかなハーブの風につつまれて、幻想的なほたるの光と、心に響くあたたかい音楽をごゆっくりお楽しみください。

# 第3回 チャリティ ガーデン コンサート

2003.6/7 Sat. 雨天決行

ハーブとほたるの里東谷

pm 5:00~  
チャリティーバザー

pm 7:00~  
1部 アンサンブル Musée  
木管四重奏

2部 アルマンド・おぎ ラテンライブ  
LATIN LIVE

3部 菅尾玲子シャンソンライブ  
Reiko Sugao Chanson Live

## CHARITY GARDEN CONCERT FINALE

盛大な花火大会でフィナーレを迎えます。

会場: 北九州市小倉南区大字小森892-1  
東谷ハーブガーデン レストクン エストラヴィース

●入場料: 無料(チャリティー募金)

※募金は小倉地区社会福祉協議会・東谷社会福祉協議会に寄付  
お問い合わせは 小倉地区まちづくり協議会

Tel. 093-951-4111(代)

主催: 東谷地区まちづくり協議会、ハーブとほたるの里、東谷チャリティー・ガーデンコンサート実行委員会  
後援: 北九州市小倉南区役所、北九州ほたるの会  
協賛: (株)東谷興農会、東谷地区協議会、三菱マテリアル(株)他、多数企業

シャンソンを披露する菅尾玲子さん  
平成19年6月

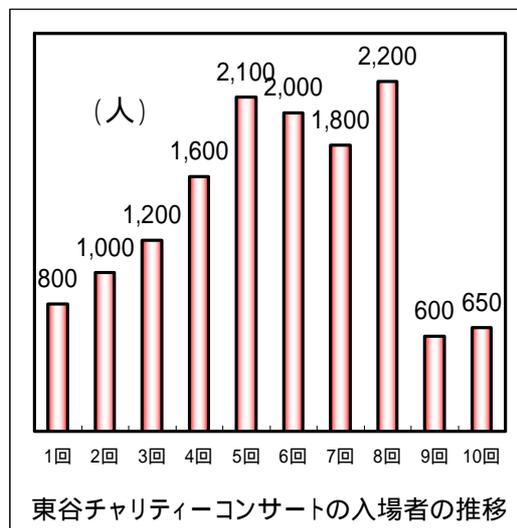


## コンサートの出演者一覧

平成13年6月2日	第1回ハーブとほたるの里東谷 「チャリティーガーデンコンサート」 アンサンブル ミューゼ(木管四重奏) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live) 菅尾 玲子(シャンソンライブ)
平成14年6月1日	第2回チャリティーガーデンコンサート アンサンブル ミューゼ(木管四重奏) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live) 菅尾 玲子(シャンソンライブ)
平成15年6月7日	第3回チャリティーガーデンコンサート アンサンブル ミューゼ(木管四重奏) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live) 菅尾 玲子(シャンソンライブ)
平成16年6月5日	第4回チャリティーガーデンコンサート マリンバ・スケルツォ(Marimba Scherzo) トリオ・ロス・ファンダンゴス(Trio Los Fandangos) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live)
平成17年6月11日	第5回チャリティーガーデンコンサート トリオ・ロス・ファンダンゴス(Trio Los Fandangos) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live) 菅尾 玲子(シャンソンライブ)
平成18年6月3日	第6回チャリティーガーデンコンサート 風の旅人(フォルクローレ) 石原あゆみ(ピアノ・ボーカル) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live)
平成19年6月2日	第7回チャリティーガーデンコンサート トリオ・ロス・ファンダンゴス(Trio Los Fandangos) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live) 菅尾 玲子(シャンソンライブ)
平成20年6月7日	第8回チャリティーガーデンコンサート シエスタ(ジャズ) ながたりエ(Jポップ) アルマンドおぎ ラテンライブ(Latin Live) トリオ・ロス・ファンダンゴス(Trio Los Fandangos)
平成21年7月4日	第9回チャリティーコンサート 風船蔓バンド ラムジ
平成22年7月3日	第10回チャリティーコンサート 風船蔓バンド ラムジ
平成23年11月12日	第11回チャリティーコンサート 風船蔓バンド ラムジ

第1回目の観衆は800、これが年々増加して、平成20年の第8回は2200の動員となり、広く県外からの観衆も見られ、新しい文化の創造、地域のPR、他地域との交流といった当初の目的は達成された。

東谷チャリティーコンサート入場者の推移



平成21年に入り、当初の目的を達成したこと、世界的な不況の中、地元企業に協賛を依頼することが難しいこと、また、地域総括補助金の受け入れに伴いまちづくり実践事業として20万円の補助金がついたことから、企業に協賛をお願いせずに経費を節減、形態を変えて東谷興農会館でチャリティーコンサートを開催しようということになり、東谷地区出身でメジャーデビューしているラムジ(山下祐樹)と地元で活動する風船蔓バンド(櫛井久美)に無償での出演をお願いしたところ心よく引き受けていただき、第9回(21年)、第10回(22年)のコンサートが開催された。

尚、これまで、毎年15~20万円のチャリティー募金が集まっており、これについては、小倉南区及び東谷地区の社会福祉協議会に寄付し、一部まちづくり協議会の活動費に充てている。(敬称略)

## まちづくり協議会の年表（その1）

年月	内容
平成9年12月	東谷地区の団体が協力し石原町駅有人化運動を開始
平成11年3月	石原町駅の有人化がなる まちづくり協議会の必要性を認識
平成11年12月8日	東谷まちづく協議会準備会結成
平成12年1月	北九州市がまちづくり協議会を中心としたコミュニティづくりの推進を発表
平成12年1月	東谷郷土資料館を語る会発足
平成12年3月24日	石原町駅駐輪場開設式典を開催
平成12年5月19日	平尾台自然観察センターオープン
平成12年5月30日	北九州市が「平尾台自然の郷」整備計画発表
平成12年8月2日	東谷まちづく協議会準備会
平成13年4月1日	米田館長着任
平成13年6月2日	第1回ハーブとほたるの里東谷「チャリティーガーデンコンサート」開催
平成13年8月22日	規約案、委員名簿、役員案、事業計画案、予算案の作成
平成13年8月29日	東谷地区まちづく協議会の発足総会
平成13年9月	東谷パソコン講座を開講
平成14年1月6日	第31回東谷地区新年祝賀会をはじめて興農会で開催
平成14年2月21日	東谷地区自治公民館館長がまちづく協議会に参加
平成14年3月	西鉄バス平尾台線の廃止決定
平成14年4月1日	東谷市民福祉センター（公民館との二枚看板化）開設
平成14年4月12日	東谷地区市民福祉センターオープン式典
平成14年5月14日	東谷地区食生活改善推進員協議会がまちづくり協議会に参加
平成14年5月14日	公民館運営委員会総会（解散）
平成14年5月14日	東谷地区まちづく協議会総会
平成14年6月1日	第2回チャリティーガーデンコンサート開催
平成14年7月1日	まちづくりだより第1号発行
平成14年7月8日	郷土資料館に関する検討会 以後準備会を数回開催
平成14年9月24日	三菱マテリアル㈱セメント部門の休止発表
平成14年11月	平尾台バス廃止への対応策を市に要望
平成14年11月	おでかけ交通委員会発足
平成14年12月4日	東谷地区協議会と三菱マテリアル㈱が工場閉鎖に伴う双務協定を締結
平成14年12月6日	資料館運営委員会準備会（以後3回）
平成15年3月7日	第1回道の駅検討委員会
平成15年4月1日	平田館長着任
平成15年4月5日	おでかけ交通開通式
平成15年4月20日	「平尾台自然の郷」がオープン
平成15年6月3日	東谷地区まちづく協議会総会（松崎会長就任、郷土資料館運営委員会発足）
平成15年6月7日	第3回チャリティーガーデンコンサート開催
平成15年6月17日	第2回道の駅検討委員会
平成15年7月26日	平尾台観光祭を平尾台自然の郷にてはじめて開催
平成15年9月10日	子育て支援ランランランド開設
平成15年10月11日	まちづくり協議会による館の清掃活動開始
平成15年12月	東谷公民館・福祉センターのホームページ開設
平成16年3月18日	郷土資料館リニューアルオープン記念式典
平成16年3月30日	新道寺学童保育クラブ開設式典
平成16年5月27日	東谷地区まちづく協議会総会（ほたるの飼育事業開始）
平成16年6月5日	第4回チャリティーガーデンコンサート開催
平成16年12月31日	センター開館50周年記念誌「東谷」を発行
平成17年1月1日	「東谷市民センター」に名称が変更
平成17年2月19日	東谷市民センター開設50周年記念式典

## おでかけ交通開通式

平成 15 年 4 月



「平尾台自然の郷」オープン

平成 15 年 4 月



郷土資料館リニューアルオープン記念式典

平成 16 年 3 月



東谷市民センター50周年記念誌担当委員

平成 17 年 2 月



## まちづくり協議会の年表（その2）

年月	内容
平成17年3月2日	平尾台の野焼き茶ヶ床園地での観覧を実施
平成17年4月1日	市民センター運営業務がまちづくり協議会に委託される 岡本館長着任
平成17年4月20日	消防10分団新庁舎開設祝賀会
平成17年5月18日	東谷地区まちづくり協議会総会 (生活環境部会発足)
平成17年6月11日	第5回チャリティガーデンコンサート開催
平成17年7月23日	東谷地区生活安全パトロール隊 発足式
平成17年7月24日	東谷地区ふれあい卓球大会(まちづくり事業になる)
平成17年11月30日	「わが郷土東谷」が出版される
平成17年8月16日	山口義明氏、日本画「北帰飛翔」をセンターに寄贈
平成18年1月30日	小倉南区都市計画マスタープラン ワークショップ
平成18年3月16日	新北九州空港 開港
平成18年5月18日	東谷地区まちづくり協議会総会 (ほたる部会、広報部会発足)
平成18年5月29日	ほたる部会発足総会
平成18年6月3日	第6回チャリティガーデンコンサート開催
平成18年6月8日	平尾台の共同開発を住友大阪セメントと三菱マテリアルが発表
平成18年6月15日	東谷まちづくりだよりの定期発行開始
平成18年7月	この頃より東谷地区に猿の群が出没
平成18年7月	東谷郷土資料館の定期開館はじまる
平成18年7月20日	健康づくり事業委員会 発足会
平成18年8月31日	平尾台開発の環境アセスメント(審査会) 開始
平成18年10月6日	東谷ヘルスマイト12周年記念式典
平成18年10月14日	生活安全パトロール隊が市長より表彰される
平成18年10月15日	新道寺小学校130周年記念式典
平成18年11月12日	東谷中学校60周年記念式典
平成18年12月26日	健康づくりアンケート調査実施
平成19年2月19日	石原町郵便局配送センター化
平成19年3月4日	平尾台の野焼きに自衛隊がはじめて参加
平成19年3月27日	まちづくり協議会のホームページを作成
平成19年4月13日	生活安全パトロール(以後毎月2回実施)
平成19年4月25日	健康づくり委員会(以後定期的に開催)
平成19年4月21日	生活安全パトロール青色回転灯車出発式
平成19年5月16日	東谷地区まちづくり協議会総会 (環境部会、生活安全部会、健康づくり部会発足)
平成19年5月22日	健康づくり事業を市と委託契約
平成19年5月25日	第1回健康づくり部会絵手紙講座
平成19年6月2日	第7回チャリティガーデンコンサート開催
平成19年8月29日	三好巡査部長表彰祝賀会
平成19年10月1日	郵便局の民営化
平成19年10月11日	環境部会が市長より表彰される
平成19年10月21日	東谷中学校オープン図書館開設
平成19年11月3日	岡本前館長のご葬儀
平成19年12月7日	第1回 健康づくり講話 東谷っちゃん体操ソング完成
平成19年12月9日	東谷農業祭を開催
平成20年2月14日	平尾台共同開発の地元説明会
平成20年3月2日	平尾台野焼きにおいて殉職30年慰霊祭を開催
平成20年3月15日	第1回まちづくりウォーキング
平成20年3月28日	まちづくり協議会のテントを購入
平成20年4月1日	下門館長着任
平成20年4月15日	東谷っちゃん体操完成(まちづくりだよりで発表)
平成20年4月17日	健康づくり部会委員会開催(以下月1回)
平成20年4月20日	平尾台自然の郷5周年記念式典
平成20年5月2日	東谷駐在所落成式
平成20年5月13日	東谷地区まちづくり協議会総会

平尾台の野焼き茶ヶ床での観覧を実施  
平成17年3月



まちづくり協議会のホームページを作成  
平成19年3月



生活安全パトロール青色回転灯車出発式  
平成19年4月



第1回まちづくりウォーキング  
平成20年3月



### まちづくり協議会の年表（その3）

年月	内容
平成20年6月7日	第8回チャリティガーデンコンサート開催
平成20年6月23日	平尾台共同開発公聴会を開催
平成20年9月24日	第1回 地区計画勉強会
平成20年9月6日	郷土資料館屋根の改修工事着工
平成21年2月14日	第1回 ふゆはなび
平成21年4月1日	魚住館長着任
平成21年4月1日	地域総括補助金の受け入れ
平成21年5月7日	地域総括補助金説明会
平成21年5月13日	東谷地区まちづくり協議会総会 (地域総括補助金受け入れに伴う組織の再編) (教養文化部会、福祉部会、女性部会発足)
平成21年7月21日	猿害対策協議会発足
平成21年4月2日	地域総括補助金説明会
平成21年7月4日	第9回チャリティコンサート開催
平成21年7月24日	平尾台開発の見学会
平成21年7月24日	小倉南区大雨災害
平成21年9月4日	檜垣小倉南区老人クラブ連合会会長就任祝賀会
平成21年9月27日	市丸小学校130周年式典
平成21年11月8日	呼野自治公民館改修落成式
平成21年11月21日	小倉南区制35周年記念式典
平成22年1月2日	第1回 東谷地区青壮年交流会
平成22年3月18日	貫校区 暴力追放キャンペーン
平成22年4月18日	第1回平尾台トレイルラン
平成22年4月25日	第1回東谷まちづくりカップグラウンドゴルフ大会
平成22年5月13日	東谷地区まちづくり協議会総会
平成22年7月3日	第10回チャリティコンサート開催
平成22年7月14日	小倉南区大雨災害
平成22年9月3日	地区協議会が台上開発地視察
平成22年9月7日	地区計画勉強会
平成23年1月25日	さる対策講習会
平成23年2月27日	平尾田野焼きにて泡消化実験
平成23年3月11日	東日本大震災
平成23年3月12日	呼野消防車庫改修落成式
平成23年4月8日	東谷川改修報告会
平成23年4月24日	呼野公民館でさる対策会議
平成23年5月17日	東谷地区まちづくり協議会総会 (島藤会長就任、青少年部会発足)
平成23年9月19日	10周年記念「第44回東谷地区敬老会」
平成23年11月12日	10周年記念「第11回東谷チャリティコンサート」
平成23年11月19日	10周年記念「式典・祝賀会」、「10年のあゆみ発行」
平成23年11月20日	10周年記念「東谷文化祭」

10周年記念「第44回東谷敬老会」  
平成23年9月19日



第1回 ふゆはなび  
平成21年2月



第9回 チャリティコンサート(ラムジ)  
平成21年7月



第1回東谷まちづくりカップGG大会  
平成22年4月



小倉南区大雨災害  
平成21年7月・平成22年7月

